

奈良の歴史展示力強化

歴史展示の現状

- 奈良の価値＝値打ちは、奈良が、①**国家基盤が形成された地**・②**仏教が伝来した地**・③**東アジアとの交流が盛んであった地**、であるという『歴史』そのものにある。このような奈良の持つ歴史の意味を発掘・発見し、展示・保存する取り組みを行うことは、**歴史ある地域としての義務**である。
- しかし、遺跡からの出土品や美術工芸品などの「歴史物の展示」はあっても、「**歴史の展示**」が不十分であるため、**奈良の価値である歴史を誰もが体感できる状況とはなっていない**ことが大きな課題

奈良の歴史展示構想(案)

歴史展示の内容

○展示する歴史テーマを設定し、テーマに即した人物(語り部等)により、拠点施設を中心に映像・音声で歴史を解説する

歴史展示のための拠点施設

- 県立美術館**…歴史展示機能を付加する
- 万葉文化館**…明日香における歴史の総合展示施設とするとともに、明日香のゲートウェイと位置づける

拠点施設と現地在ネットワーク化された歴史展示の推進

- 現地展示：
奈良エリア…平城宮跡等
明日香エリア…明日香村全域

歴史展示の南北拠点



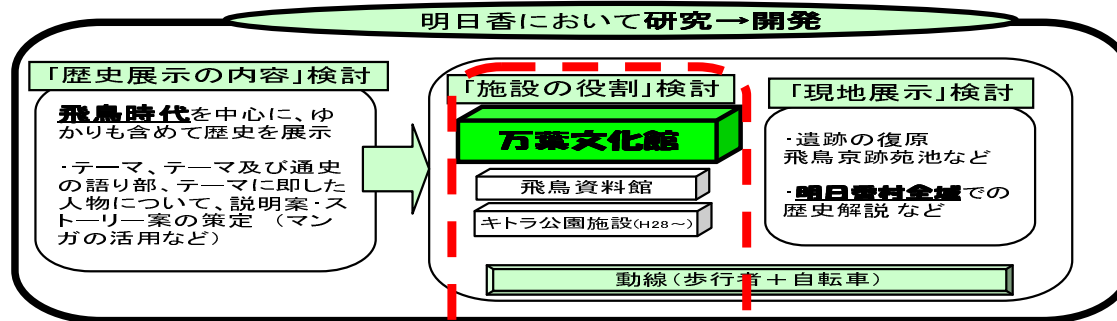
奈良・明日香エリアでの歴史展示を踏まえ、今後の奈良全体の歴史展示を推進

奈良の歴史展示力を強化することで、奈良を訪れる方に感動を与えたい

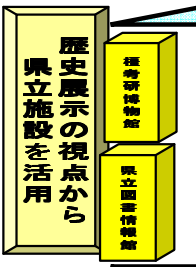
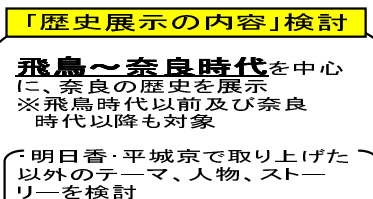
奈良の歴史展示構想(案)

飛鳥時代を中心に歴史展示=明日香

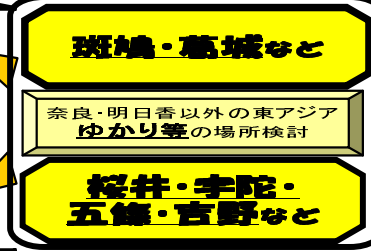
H21:基本方針
H22:実施計画



明日香エリアでの歴史展示の推進

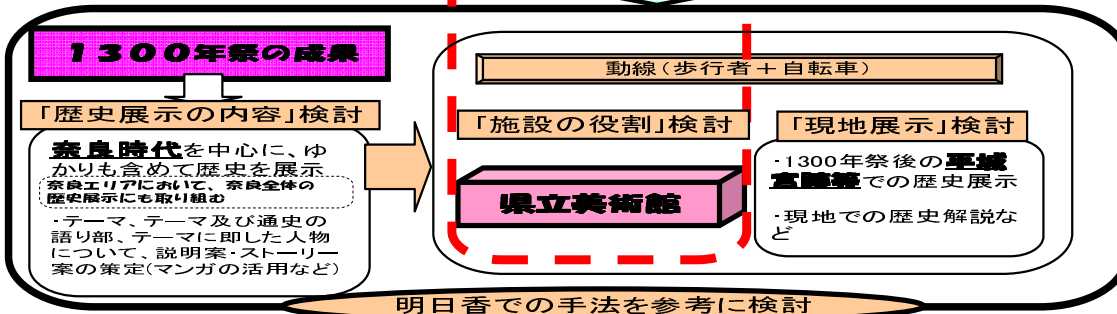


連携



奈良全体の歴史展示

H22~23:検討
H24:基本構想



奈良エリアでの歴史展示の推進

奈良時代を中心に歴史展示=平城宮跡を中心とした奈良エリア

H22:基本方針
H23:実施計画